



2023年5月/8日

菅野

議会議長

様

兵庫県保育所運動連絡会

会長 増田百代

神戸市中央区楠町

Tel

fax

子どものために保育士の配置基準を引き上げるよう、 国に対して、意見書の提出を求める陳情書

保育は、誰もが安心して子どもを産み育てる社会の実現にとって不可欠な社会資源であり、子どもたちの日々の暮らしと、成長発達を保障するための大切な施設です。

深刻な少子化の進行のもと、社会の真ん中に子ども関連施策をすえるとして、政府は4月に「こども家庭庁」を発足させました。

この間小学校では、40年ぶりに配置基準が改善され、全学年で35人を上限とする少人数学級実現が進んでいます。ところが、保育所の保育士配置基準は、3歳児20人に1人が50年以上、4、5歳児30人に1人が70年以上改善されていません。

3歳児は、食事・排泄・着替えなどを保育者と一緒に行いながら、子どもが自分でできるようになっていく大切な時期です。ていねいにかかわりたいと思っても、この状態ではとても難しいといわざるをえません。4、5歳児の諸外国の配置基準は、フランスは15人に1人以上、スウェーデンは18人に3人(6:1)です。国際的にも、とても低い基準になっています。

私たちは、このような状況が一日も早く改善される事を願っています。よって、貴議会から国に対して下記の内容で意見書を提出していただきたく陳情いたします。

記

- 1、子どもたちの豊かな発達保障のために、早急に配置基準を引き上げる為の最低基準の改正を行ってください。
- 2、特定教育・保育予算を大幅に増やしてください。
- 3、公定価格を引き上げ、保育士等の処遇改善をすすめてください。

以上